

北海道医療大学

言語聴覚士国家試験過去問題 Web/mobile Site

—利用マニュアル—

北海道医療大学 情報センター

2011/11/01

言語聴覚士国家試験過去問題 Web/mobile Site では、第 1 回から本年度までの過去問題をインターネットに接続されたパソコンや携帯電話を使って解くことができます。本書では、Web サイトと Mobile サイトを利用するための手順を紹介します。

1. Web サイトへのログイン

1. 1. 本学ホームページからのリンク



本学ホームページ (<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/>) の右下「教育支援 (学内向け)」をクリックして一覧から「言語聴覚士国家試験過去問題 Web Site」を選択します。

1. 2. ログイン

北海道医療大学 言語聴覚士国家試験過去問題 Web Site

ログインID @hoku-iryo-u.ac.jp

パスワード

HNNETのパスワードでログインできます

HNNET のログイン ID (アカウント) とパスワードでログインします。

2. トップページ

2. 1. 機能の紹介

北海道医療大学 言語聴覚士国家試験過去問題 Web Site

ログインID
 ログインID 今までに解いた問題の総べ数
 s07v001 @hoku-iryo-u.ac.jp 802

分野別問題選択
 試験年度: 第1回 ▾ 表示
 番号順に問題を表示します(チェックボックスをONにすると1題ごとに採点されます)。ボタンの数値は(回答案)/
 (問題数)です

#	基礎 医学	臨床 医学	臨床 歯科	言語 聴覚	心理 学	音声 言語	社会 福祉	失語 症	高次 機能	発達 障害	発声 発語	聴覚 障害
13	<input type="checkbox"/> 21/21	<input type="checkbox"/> 116/116	<input type="checkbox"/> 4/4	<input type="checkbox"/> 9/9	<input type="checkbox"/> 10/20	<input type="checkbox"/> 19/25	<input type="checkbox"/> 7/7	<input type="checkbox"/> 7/7	<input type="checkbox"/> 11/11	<input type="checkbox"/> 4/8	<input type="checkbox"/> 11/12	<input type="checkbox"/> 15/27

ランダム問題選択
 下記の条件にしたがって、ランダムに問題を表示します。
 試験年度 第1回 ▾
 分野 無条件 ▾
 キーワード キーワードを含む問題のみを表示します(空白可)
 問題数 1 ▾
 1題ごとに採点します

特定問題選択
 試験年度 第1回 ▾
 問題番号 1~200

問題別成績(s07v001)
 試験年度: 第1回 ▾
 第0回 分野 正誤左が新しい結果です

最近2ヶ月の週間成績 正答率%(正解数/回答数)

#	基礎医 学	臨床 医学	臨床 歯科	言語 聴覚	心理 学	音声 言語	社会 福祉	言語 書字	失語症	高次 機能	発達 障害	発声 発語	聴覚 障害
最近の1週	0%(0/9)	0%(0/9)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/2)	0%(0/1)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)
最近の2週	20%(8/40)	7%(3/40)	0%(2/23)	0%(0/6)	20%(1/5)	0%(5/25)	12%(1/8)	0%(0/12)	23%(8/34)	0%(1/12)	0%(0/4)	0%(0/8)	0%(0/2)
最近の3週	14%(22/152)	0%(2/51)	25%(7/25)	21%(3/14)	17%(4/23)	13%(2/15)	23%(7/30)	19%(5/27)	16%(2/12)	25%(1/4)	18%(4/22)	10%(4/39)	19%(4/21)
最近の4週	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)
最近の5週	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)
最近の6週	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)
最近の7週	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)
最近の8週	66%(2/3)	100%(1/1)	0%(0/0)	0%(0/2)	50%(2/4)	0%(0/0)	0%(0/0)	0%(0/0)	71%(10/14)	87%(7/8)	0%(0/0)	0%(0/1)	0%(0/1)

終了 システムからログオフして終了します

- ログイン ID
- 分野別問題選択
試験年度と分野を選択して問題を解きます(→3章)
- ランダム問題選択
試験年度、分野、キーワードなどを選択して該当する問題をランダムに解きます(→4章)
- 特定問題選択
試験年度と問題番号を選択して問題を解きます(→4章)
- 最近2か月の成績
- 問題別成績
- システムからのログオフ

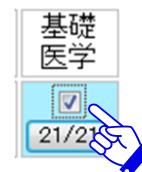
3. 「分野別選択」機能を使った学習

3. 1. 学習履歴の色分け表示と「試験年度・分野」の選択

試験年度と分野を選択して問題を解きます。ボタンに表示されている数字は（今までに回答した問題数）／（すべての問題数）です。回答していない分野は「赤色」、回答した問題数が半数以下の分野は「黄色」、すべての問題を回答した分野は「青色」で着色されます。また、試験年度を「全て」とすると、一覧表が表示されます。

3. 2. 問題表示と回答選択

「試験年度と分野の選択」でチェックボックスをONにすると一台ずつ採点されます。



選択肢から回答を選んで「次の問題へ」ボタンをクリックします

3. 3. 採点結果と類題表示

第11問 回答: 4 正解 大分類 764(639) 中分類 137(110) 小分類 49(40)

インフォームドコンセントについて正しいのはどれか。

1. 混乱を避けるため他の治療法の説明はしない。
2. 患者のために医師が判断の主導権を握る。
3. 医師・患者間の問題なので言語聴覚士は関与しない。
4. 治療法に伴う危険性についても詳しく説明する。
5. 患者は承諾書署名後は治療法の変更を要求できない。

第12問 回答: 3 誤答: 正解は 4 大分類 755(643) 中分類 130(104) 小分類 38(28)

問103 鼓膜から最も離れて存在する耳小骨はどれか。

1. 錘骨
2. ツチ骨
3. 蝶形骨
4. アブミ骨
5. キヌタ骨

第13問 回答: 2 誤答: 正解は 5 大分類 755(643) 中分類 130(104) 小分類 28(19)

内頸動脈から分岐しないのはどれか。

1. 眼動脈
2. 前大脳動脈
3. 中大脳動脈
4. 後交通動脈
5. 後下小脳動脈

分野の回答が終了すると、最後に、すべての問題が採点されます。誤答の場合には正解が表示されます。採点結果の下には問題文が表示されます。

第22問 回答: 4 誤答: 正解は 5 大分類 59(44) 中分類 4(2) 小分類 3(1)



採点結果の横には、分類番号をもとにした類題を解くためのボタンが表示されます。

小分類 3(1)

たとえば、上記の場合、ボタンの横に「3(1)」と表示されていますが、これは、同じ小分類に属する類題が3題あることを表します。また、3題のうち、未解答の類題が1題あることを表します。

4. 「ランダム問題選択」と「特定問題選択」機能を使った学習

4. 1. 条件の設定

■ ランダム問題選択

下記の条件にしたがって、ランダムに問題を表示します。

試験年度	第13回
分野	無条件
キーワード	キーワードを含む問題のみを表示します(空白可)
問題数	1

:1題ごとに採点します

■ 特定問題選択

試験年度	第1回
問題番号	1~200

■ ランダム問題選択

下記の条件にしたがって、ランダムに問題を表示

試験年度	第13回
分野	基礎医学
キーワード	無条件 基礎医学 臨床医学 臨床園科学
問題数	音声聴覚医学 心理学 音声・言語学 社会福祉・教育 言語聴覚障害学総論 失語症 高次脳機能障害 言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学 聴覚障害学

:1題ごとに採点します

「ランダム問題選択」では、試験年度、分野、キーワードなどを選択して該当する問題をランダムに解きます。試験年度「第13回」、分野「心理学」、キーワード「記憶」を含む、など、複数の条件を重ねることもできます。

4. 2. 問題表示と採点結果

第13回 (#152) 言語聴覚障害学総論 分類2-B-b(2592)

■ 第1問目

正しいのはどれか。

- 1 純音聴力検査では骨導閾値は250Hzから8,000Hzで測定する。
- 2 田中ビネー知能検査Vでは言語性および動作性知能を求める。
- 3 新版K式発達検査では養育者が回答する。
- 4 トークンテストでは理解語彙年齢を求める。
- 5 反復唾液嚥下テストは30秒を評価単位とする。

選択肢 1 2 3 4 5[採点画面へ](#)

「分野別選択」と同様に、設定した条件に従って問題が表示されます。なお、「ランダム問題選択」の場合には、下記の条件に従って、優先順位の高い問題が先に表示されます。

- 未解答の問題が優先
- 未解答の問題がない場合には、回答回数が少ない問題が優先

■ 解答

回答:

正解

[次の問題へ](#)

■ 類題

[大分類](#) 755(643)[中分類](#) 136(124)[小分類](#) 69(61)

1 題ごとに採点されます。類題も表示されます。

5. 問題別成績表示

■ 問題別成績(s07v001)

試験年度: 第1回 成績表示

第1回	分野	正誤(左が新しい結果です)
第1問	基礎医学	○×,×,×,×,×,×,×,×,
第2問	基礎医学	×
第3問	基礎医学	○×,
第4問	基礎医学	××,
第5問	基礎医学	××,○,×,
第6問	基礎医学	○○,×,×,
第7問	基礎医学	××,
第8問	基礎医学	×
第9問	基礎医学	×
第10問	臨床医学	×
第12問	臨床医学	×
第21問	臨床医学	×
第27問	臨床医学	×
第31問	臨床歯科	○
第32問	臨床歯科	▽▽

■ 問題別成績(s07v001)

試験年度: 第1回 成績表示

第1回	分野	正誤(左が新しい結果です)
第1問	基礎医学	○×,×,×,×,×,×,×,×,
第2問	基礎医学	×
第3問	基礎医学	○×,
第4問	基礎医学	××,
第5問	基礎医学	××,○,×,
第6問	基礎医学	○○,×,×,
第7問	基礎医学	××,
第8問	基礎医学	×
第9問	基礎医学	×
第10問	臨床医学	×
第11問	臨床医学	×
第12問	臨床医学	××,○,×,
第13問	臨床医学	○×,×,×,
第14問	基礎医学	○○,×,×,

「問題別成績」では、試験年度ごとに採点結果が表示されます。複数回回答した問題に対しては、左側に新しい回答の正誤（○×）が表示されます

試験年度: 第2回 成績表示

第2回	分野	正誤(左が新しい結果です)
第1問	基礎医学	○×,
第2問	基礎医学	○

上記の場合、試験年度「第2回」で、第1問は「2回」回答しており、1回目は誤答（×）、2回目は正答（○）であったことを表します。問題番号のボタンを押すと、問題回答の画面が開きます。未解答の問題はボタンが表示されませんが、「4. 1. 特定問題選択」機能で問題番号を指定すると回答できます。

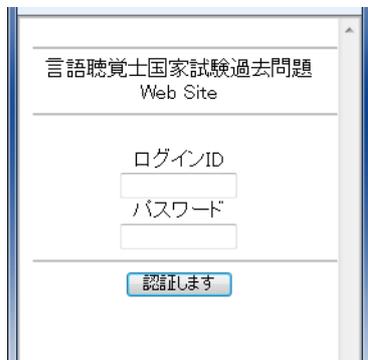
6. Mobile サイトへのログイン

6. 1. アドレスとQRコード



<http://cosmos.hoku-iryo-u.ac.jp/st/mp-index.asp>

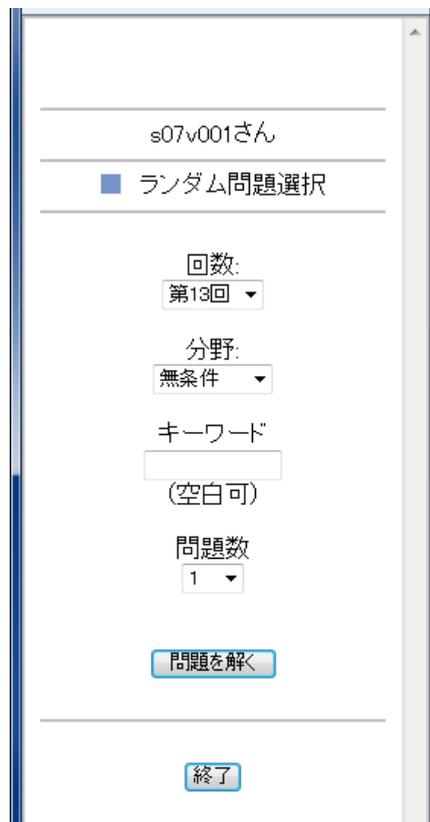
6. 2. ログインと機能の紹介



言語聴覚士国家試験過去問題
Web Site

ログインID

パスワード



s07v001さん

■ ランダム問題選択

回数:
第13回 ▼

分野:
無条件 ▼

キーワード

(空白可)

問題数
1 ▼

Web サイトと同様に HNNET のアカウントとパスワードでログインします。mobile サイトの場合、機能は「ランダム問題選択」のみとなります。

6. 3. 問題表示、回答選択、採点結果、類題表示

第13回 言語聴覚障害学総論

■ 第1問目

正しいのはどれか。

1.A-B-A-B型の実験計画ではBがベースライン期にあたる。
 2.ノンパラメトリック検定では標準偏差を求める。
 3.F検定は間隔尺度に適用できる。
 4.基準関連妥当性は反復判定の一致度を評価する。
 5.相関係数は2事象間の因果関係を明らかにする。

選択肢

1
 2
 3
 4
 5

これで最後の問題です

成績表示

戻る

■ 解答一覧

第1問
 回答:4 ×誤答:正解は3

大分類 755(642)
 中分類 238(211)
 小分類 59(46)

正しいのはどれか。

1.A-B-A-B型の実験計画ではBがベースライン期にあたる。
 2.ノンパラメトリック検定では標準偏差を求める。
 3.F検定は間隔尺度に適用できる。
 4.基準関連妥当性は反復判定の一致度を評価する。
 5.相関係数は2事象間の因果関係を明らかにする。

分野選択へ戻る

Web サイトと同様に、問題表示、回答選択、採点結果、類題表示の各機能があります。また、未解答の問題、回答回数の少ない問題が優先的に先に表示されます。Mobile サイトで送信した回答に対する成績は、Web サイトの問題別成績表示とリンクしています。